

新光ピクテ世界インカム株式ファンド（毎月決算型）

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界各国の好配当利回りの公益株に実質的に投資します。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年9月16日～2023年3月15日

第209期	決算日：2022年10月17日	
第210期	決算日：2022年11月15日	
第211期	決算日：2022年12月15日	
第212期	決算日：2023年1月16日	
第213期	決算日：2023年2月15日	
第214期	決算日：2023年3月15日	
第214期末 (2023年3月15日)	基準価額	7,244円
	純資産総額	6,600百万円
第209期～ 第214期	騰落率	△12.9%
	分配金合計	180円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

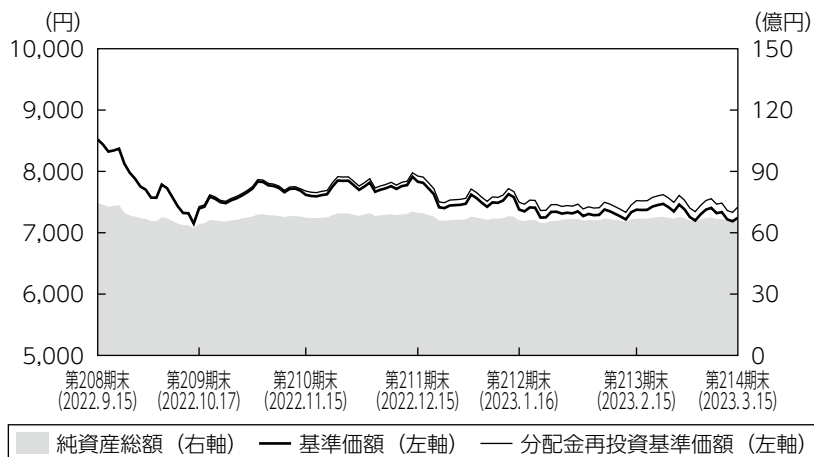
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第209期首： 8,521円
 第214期末： 7,244円
 (既払分配金180円)
 騰落率： △12.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドはピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型（以下、グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド）およびピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）への投資を通じて、世界各国の好配当利回りの公益株に実質的に投資します。当作成期は公益株が下落したほか、米ドルが対円で下落したため、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第209期～第214期		項目の概要
	(2022年9月16日 ～2023年3月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	35円	0.463%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,560円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(8)	(0.109)	
(販売会社)	(25)	(0.327)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	35	0.464	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

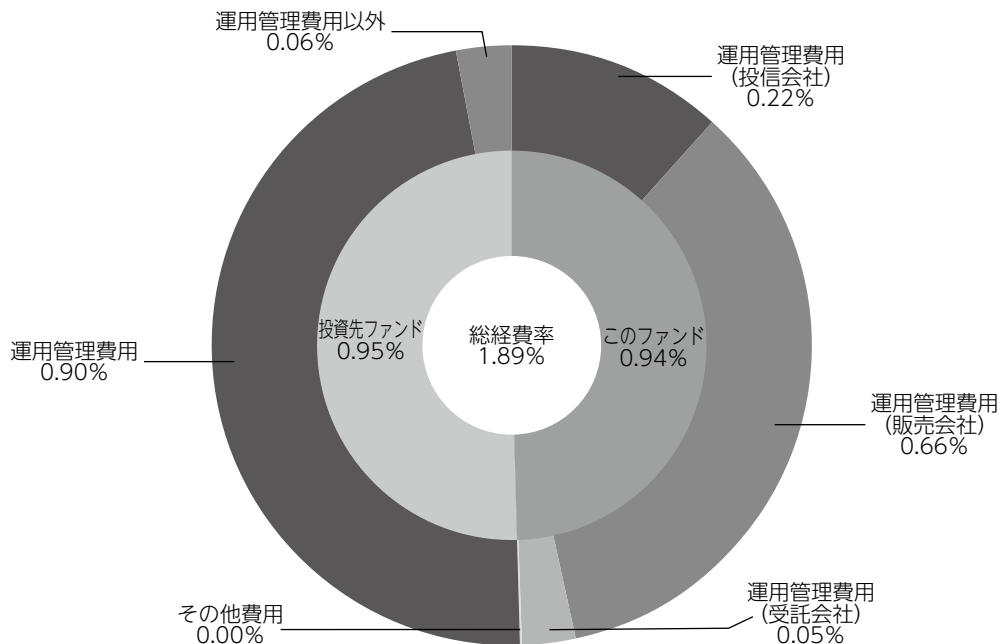
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率 (①+②+③)	1.89%
①このファンドの費用の比率	0.94%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.90%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

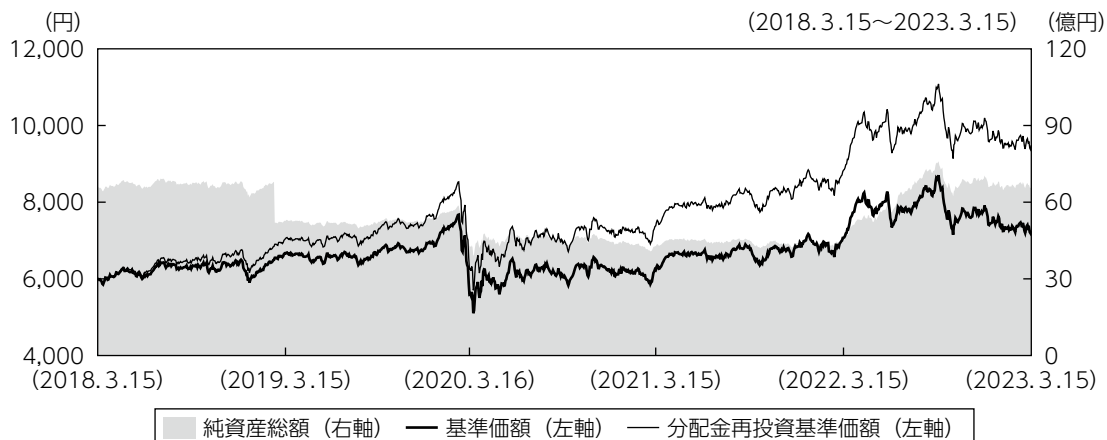
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年3月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2018年3月15日 期首	2019年3月15日 決算日	2020年3月16日 決算日	2021年3月15日 決算日	2022年3月15日 決算日	2023年3月15日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	6,005	6,660	5,598	6,231	7,070	7,244
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	17.4	△11.3	18.0	19.7	7.4
純資産総額	(百万円)	6,604	5,265	4,269	4,273	4,578	6,600

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

作成期初の世界の株式市場は、各国中銀による利上げ懸念から下落して始まり、英国の財政悪化懸念による金融市場の混乱から下落幅を広げました。その後、インフレ率がピークアウトすると徐々に反発する展開となり、中国のゼロコロナ政策転換などから世界経済のソフトランディング期待が強まり上昇基調となりました。1月末以降は各国中銀のタカ派スタンスから上値の重い展開となり、作成期末時点では米銀の経営破綻を受けて下落する展開となりました。

作成期初に1米ドル145円近辺で推移していた米ドルは、F R B（米連邦準備理事会）の利上げ観測から一時150円台に上昇したものの、政府・日銀の為替介入や米長期金利の低下を受けて米ドル安となり、12月に日銀が金融政策の修正を行うと一時130円割れまで下落しました。作成期末にかけては、F R Bのタカ派スタンスを受けて反発し135円近辺での動きとなりました。ユーロについては、E C B（欧州中央銀行）の利上げ観測から対米ドルで上昇し、対円でほぼ横ばいの動きとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

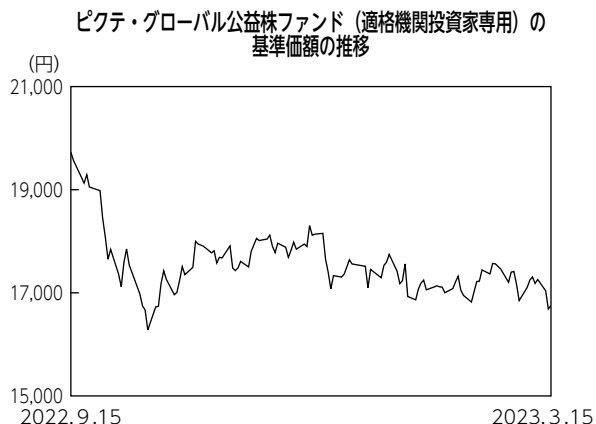
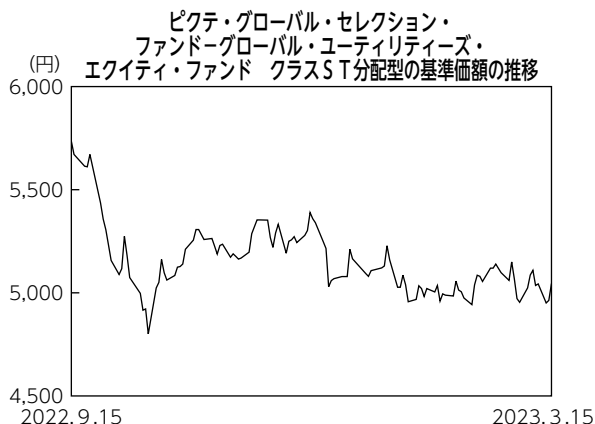
当ファンドは、グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンドとピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）に対する投資比率はそれぞれ70%程度と30%程度とし、高位組入れを維持しました。

●ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型

新興国を含む世界の株式に投資し、より高い配当利回りと株価の成長の享受を目指した運用を行いました。米国の公益企業の事業および規制環境は他の地域と比べてより良好であることから、米国の公益銘柄へ重点的に投資しました。新興国は市場環境が国によって異なるため、配分を慎重に行いました。また、再生可能エネルギーへの投資シフトにも注目し運用を行いました。

●ピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）

先進国の公益株を主な投資対象として、安定的な収益を目指した運用を行いました。米国の公益企業の事業や規制環境は他の地域と比べて良好なため、組み入れを高めに行いました。風力、太陽光などのクリーンエネルギーへのシフトによる恩恵を受けると期待される企業に注目しました。また、ESG（環境、社会、ガバナンス）への取り組みの重要性が高まっており、当ファンドでも銘柄選別において重視しました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期
	2022年9月16日 ～2022年10月17日	2022年10月18日 ～2022年11月15日	2022年11月16日 ～2022年12月15日	2022年12月16日 ～2023年1月16日	2023年1月17日 ～2023年2月15日	2023年2月16日 ～2023年3月15日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.40%	0.39%	0.38%	0.40%	0.41%	0.41%
当期の収益	30円	30円	30円	30円	30円	30円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	4,720円	4,734円	4,748円	4,758円	4,768円	4,778円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンドとピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）に対する投資比率はそれぞれ70%程度と30%程度とし、高位組入れを維持して運用を行うことで、公益株から得られる高い配当利回りと、長期的なキャピタル・ゲインの獲得を目指していく方針です。

●ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型

当ファンドでは、引き続き新興国を含む世界の公益企業の発行する株式に投資を行い、トータルリターンの追求に努めます。グリーンシフトなどに見られるように、ESG投資に対する関心の高まりは公益企業のビジネスのあり方を大きく変える可能性があり、新たな投資機会が生まれると考えています。その為、当ファンドではESGを意識した運用を行う方針です。

●ピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、引き続き先進国の公益株を主な投資対象とし、そのなかでもより景気動向に左右されにくく、収益や配当の見通しが安定しており、配当利回りの高い銘柄を厳選して投資する方針です。近年、ESGへの取り組みの重要性が高まっており、公益企業にエンゲージメント（対話）を行い、グリーンエネルギーシフトに対応していきます。

お知らせ

■主要投資対象である「ピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）」において、運用委託先が追加されました。

変更前：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ

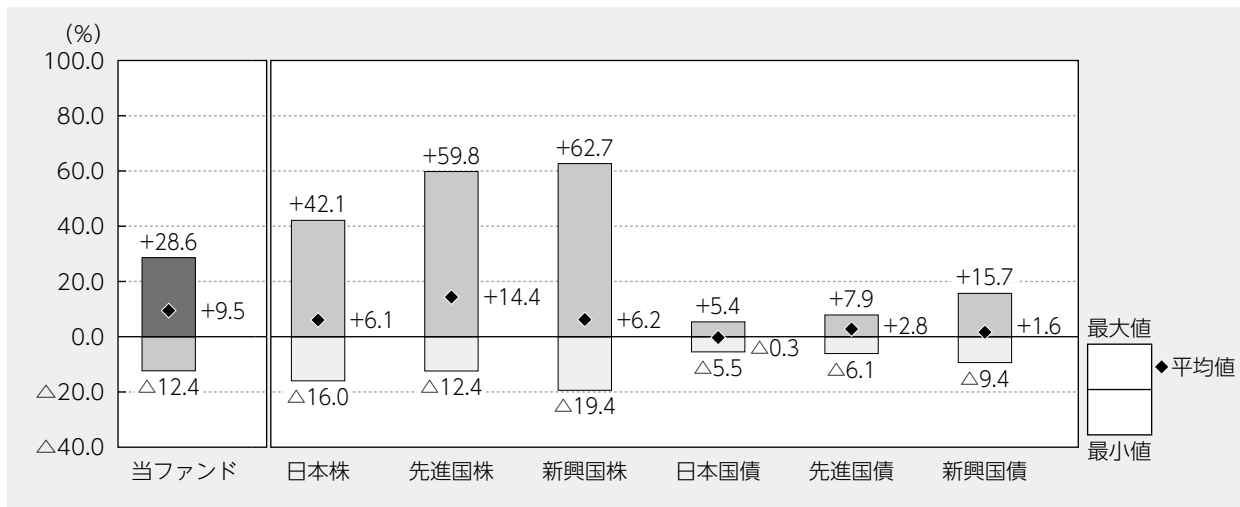
変更後：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド

(2022年10月8日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2005年4月28日から2025年5月15日までです。
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	ルクセンブルグ籍外国投資信託 ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型受益証券 内国証券投資信託（国際株式型） ピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）受益権
運用方法	外国の公益企業（電力、水道、ガスなど）が発行する配当利回りが比較的高い株式を主要投資対象とする次の投資信託証券に対して、以下の構成比率を基本に投資を行います。 ルクセンブルグ籍外国投資信託 ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型受益証券… 構成比率 約70%程度 内国証券投資信託（国際株式型） ピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）受益権… 構成比率 約30%程度
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 毎決算時の分配金額は、利子・配当等収益を基礎として、安定した収益分配を行うことを目指して決定します。また、毎年6月および12月の決算時の分配金額は、運用動向や基準価額水準等を勘案して、前記の利子・配当等収益のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2018年3月～2023年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2023年3月15日現在）

◆組入ファンド等

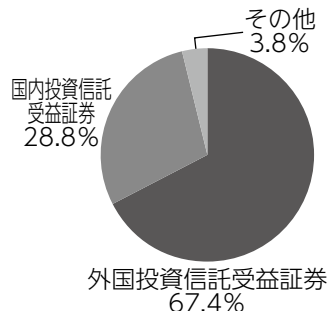
（組入ファンド数：2ファンド）

	第214期末
	2023年3月15日
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型	67.4%
ピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）	28.8
その他	3.8

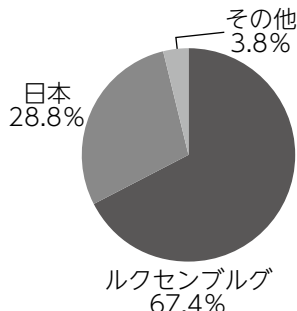
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

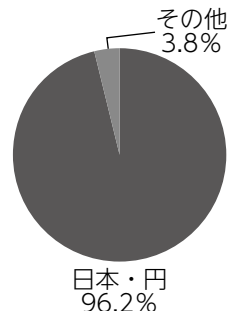
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

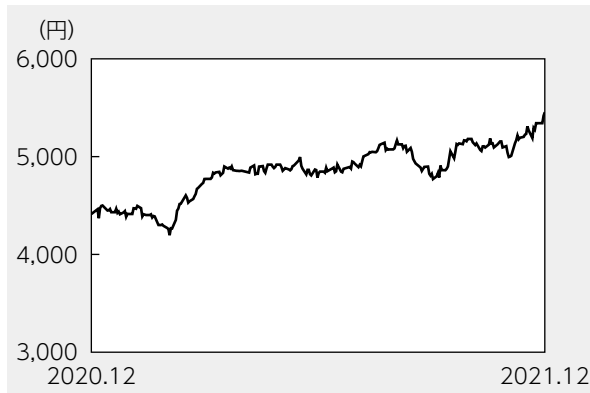
項目	第209期末	第210期末	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末
	2022年10月17日	2022年11月15日	2022年12月15日	2023年1月16日	2023年2月15日	2023年3月15日
純資産総額	6,432,646,392円	6,734,571,517円	6,968,145,472円	6,605,523,661円	6,686,926,657円	6,600,749,973円
受益権総口数	8,697,755,746口	8,839,780,174口	8,897,850,196口	8,953,019,755口	9,066,217,518口	9,112,243,880口
1万口当たり基準価額	7,396円	7,618円	7,831円	7,378円	7,376円	7,244円

（注）当作成期間（第209期～第214期）中における追加設定元本額は790,884,079円、同解約元本額は415,822,971円です。

組入ファンドの概要

【ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型】
 （計算期間 2021年1月1日～2021年12月31日）

◆基準価額の推移



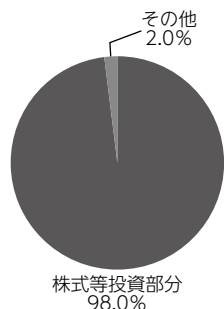
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
NEXTERA ENERGY	アメリカ・ドル	4.7%
R.W.E.	ユーロ	4.2
SEMPRA ENERGY	アメリカ・ドル	4.2
WEC ENERGY GROUP	アメリカ・ドル	4.1
DOMINION ENERGY	アメリカ・ドル	3.9
NATIONAL GRID	イギリス・ポンド	3.7
IBERDROLA	ユーロ	3.6
CMS ENERGY	アメリカ・ドル	3.5
AMEREN CORPORATION	アメリカ・ドル	3.5
SCOTTISH & SOUTHERN ENERGY	イギリス・ポンド	3.5
組入銘柄数	53銘柄	

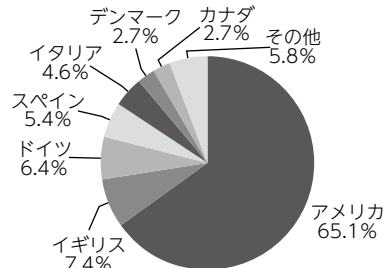
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載していません。

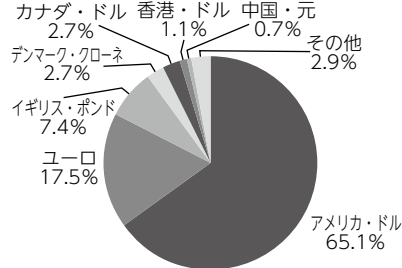
◆資産別配分



◆国別配分



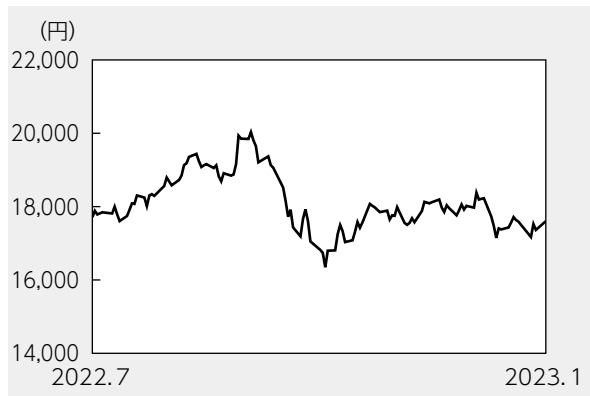
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型の計算期間のもので、また、当期における分配金を再投資したものとアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。
- (注3) 比率はピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は、未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示してあります。
- (注6) 通貨別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスS T分配型」は、「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド」の個別クラスとなっております。
- (注8) 組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【ピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）】（計算期間 2022年7月12日～2023年1月10日）

◆基準価額の推移



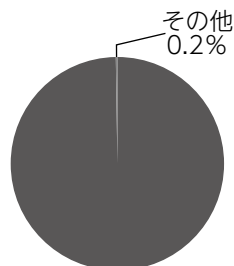
◆組入ファンド等（組入ファンド数：1ファンド）

	当期末
	2023年1月10日
ピクテ・グローバル公益株マザーファンド	99.8%
その他	0.2

◆1口当たりの費用明細

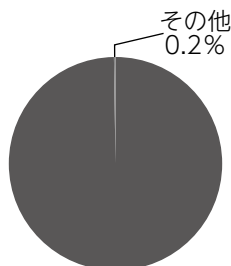
費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

◆資産別配分



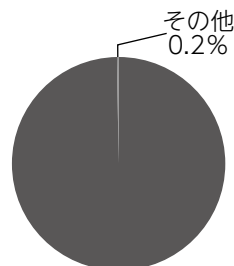
親投資信託受益証券
99.8%

◆国別配分



日本
99.8%

◆通貨別配分



日本・円
99.8%

(注1) 基準価額の推移はピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）の計算期間のものであります。また、当期における分配金を再投資したもとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入ファンド等、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）の決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はピクテ・グローバル公益株ファンド（適格機関投資家専用）の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は、未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 組入ファンド等、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピクテ・ジャパン株式会社が作成したデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<ご参考>

【ピクテ・グローバル公益株マザーファンド】（2023年1月10日現在）

◆基準価額の推移

入手できていないため、掲載していません。

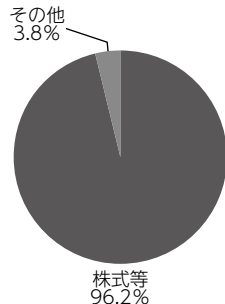
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
EXELON CORP	アメリカ・ドル	4.9%
NATIONAL GRID PLC	イギリス・ポンド	4.7
NEXTERA ENERGY INC	アメリカ・ドル	4.4
SEMPRA ENERGY	アメリカ・ドル	4.2
RWE AG	ユーロ	4.2
SSE PLC	イギリス・ポンド	4.1
IBERDROLA SA	ユーロ	4.0
CMS ENERGY CORP	アメリカ・ドル	3.8
SOUTHERN CO/THE	アメリカ・ドル	3.8
AMEREN CORPORATION	アメリカ・ドル	3.7
組入銘柄数		52銘柄

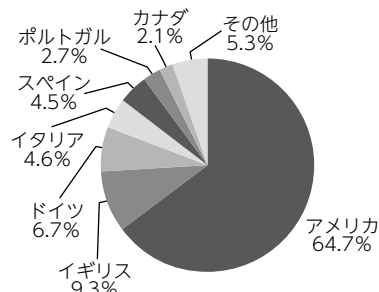
◆1万口当たりの費用明細

費用明細については入手できていないため、掲載していません。

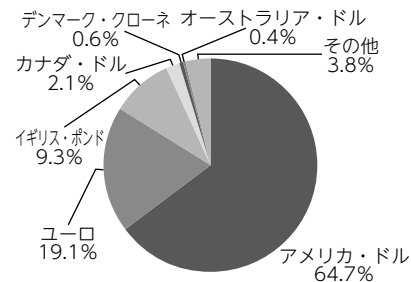
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピクテ・グローバル公益株マザーファンドの決算日現在の状況を表示しております。

(注2) 比率はピクテ・グローバル公益株マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は、未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注4) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注5) 国別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

(注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピクテ・ジャパン株式会社が作成したデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

